

6 市立図書館における子ども読書活動の推進

子どもと保護者への取り組みの充実

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
124	図書館バリアフリー宣言	だれもが使ってみようと思う、そして使いやすい図書館をめざして、図書館のバリアフリー宣言をし、様々な場面でPRする。 〔108にも掲載しています。〕	新規				平成17年度に「豊中市子ども読書活動推進会議 実務担当者会議」で検討した案について、図書館内で広く意見を募った。また、日ごろ音訳などに関わるボランティアの意見を伺い、検討している。平成19年度中に図書館内や図書館ホームページに掲載する予定。	市立図書館
125	読書相談とレファレンスサービスの充実	子どもが読みたい本や知りたいたいことを見つけられるよう取り組みを充実する。	継続				子どもが自ら読みたい本や知りたいことを見つけられるように、各図書館の書架案内図や書架表示を、わかりやすいものに工夫している。また、子どもが気軽に読書相談や調べものの相談を職員にできるように、カウンターから出て声かけを行うなど積極的にサービスを行うフロアワークの充実や、レファレンスサービスのPRに努めている。	市立図書館
126	豊中版ブックスタート事業「えほんはじめまして」	赤ちゃんにとって親子のふれあいや温かい語りかけが大切なこと、赤ちゃんと一緒に絵本を読みあう楽しさを伝える事業。図書館が子育て支援の場であることや利用の方法についても伝える。4か月児健診時、市内4カ所の会場で行う。絵本のリストや図書館の案内、子ども文庫のしおり等を配布する。また健診未受診者へ「えほんはじめまして」の資料を配布するなど、状況に応じて働きかけを行う。 〔22にも掲載しています。〕	拡充		受診者数 3,292人・受診率 96%		平成15年10月から試行開始。(平成19年4月から本格実施の予定。)平成19年3月からは健診未受診者へも保健師が「えほんはじめまして」の資料配布を行っている。資料の配布は受診者全員にできているが、なるべく多くの受診者へ声かけをして、赤ちゃんに絵本を読む楽しさを伝えるよう工夫していく。	市立図書館健康づくり推進課 子育て支援センター 豊中子ども文庫連絡会
127	乳幼児向けおはなし会	「えほんはじめまして」の取り組みをフォローするものとして、乳幼児と保護者が楽しみながら、わらべうたや絵本にふれる機会をつくる。	拡充		実施回数 参加人数	赤ちゃん対象のおはなし会、9館中3館で実施・実施回数66回・参加人数のべ1,374人。赤ちゃん専用スペースの設置、9館中2館で実施。すくすく赤ちゃんタイム、9館中3館で実施・参加人数計58組の親子	「えほんはじめまして」のフォロー事業として、1歳までの赤ちゃん対象のおはなし会や乳幼児向けのおはなし会を実施している。また赤ちゃんに絵本を楽しむ専用スペースを定期的に開設している図書館もある。また、平成18年度からの新規事業として図書館に地域の保健師を招いて健康相談などのお話をしてもらう「すくすくあかちゃんタイム」を図書館3館で実施した。地域の幼稚園と協力して「すくすくおはなしタイム」を実施した図書館もある。	市立図書館
128	おはなし会	子どもが絵本やおはなしの楽しさを知ることができるよう、図書館でおはなし会を定期的に行う。	継続		参加人数	のべ16,135人	各図書館で定期的開催している。対象年齢や開催の頻度は各図書館により異なる。幼児や小学校低学年の子どもの参加が増え、小学生向きのプログラムにも高学年の参加は少ない。開催日時の設定やPRの方法について工夫が必要である。	市立図書館おはなしボランティアグループ

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
129	「えほんにたち」	「えほんはじめまして」の取り組みをフォローするものとして、経験豊かな講師を迎え、0歳前半と後半などの発達段階に分け、親子と一緒に楽しみながら、読書の大切さを感じる取り組みを図書館などで行う。	継続		実施回数 参加人数	3館で計6回実施、92組参加	平成18年度は、月齢を生後6ヶ月までと7～12ヶ月までに分けて図書館3館で実施した。申し込みが多く、親子と一緒に楽しみながら、読書の大切さを感じる取り組みへのニーズが高いことがわかる。赤ちゃんから参加できる定例のおはなし会の充実も必要である。平成19年度も図書館4館で実施する予定。	市立図書館
130	絵本講座の開催	子育て支援の講座のなかで、親子と一緒に楽しみながら読書の大切さを感じる取り組みを、関係機関・団体と連携して行う。 〔1、9、25、102をご参照ください。〕	拡充		実施回数 参加人数	40回実施、1,419人参加	子どもと一緒に絵本を楽しむことへの関心が高まり、平成18年度は40回実施、1,419人の参加があった。それぞれの団体によって絵本講座には主に実際に読んでもらう楽しさを味わうことを目的にした講座と、子どもに絵本を読むことについての講話を中心にした講座の2種類のニーズがあることがわかった。今後は講座実施前にそれらのニーズを把握するとともに、講座を担当する職員の継続した研修が必要となる。また数多くの実施希望が寄せられることから、連絡調整など、図書館側の受け入れ体制を整備することが課題となる。	市立図書館関係機関・団体
131	情報検索の講習会	子どもを対象とした図書館の情報検索について講習会を行う。	新規		回数	1回	図書館と小学校が連携して、図書館ホームページを活用した本の検索についての講習会を行った。今後は図書館や公民館など、身近な施設において定期的な情報検索の講習会を行う必要があるが、子どもが検索を行うパソコンを必要台数確保することなどに課題がある。	市立図書館
132	「子どもと本のまつり」「子どもと本のつどい」	子どもが絵本の読み聞かせやおはなし、手づくり遊びなどを楽しむ「子どもと本のまつり」や講演会、ワークショップなどの「子どもと本のつどい」を豊子連と共催して行う。 〔15をご参照ください。〕	継続		実施回数 参加人数	子どもと本のまつり(157人)、子どもと本のつどい(3回、256人)	「子どもと本のまつり」については図書館が豊子ども文庫連絡会、おはなしボランティアポケット、おやこでほんごと連携・協力し、おはなし会やおりがみ教室を実施した。乳幼児向けのおはなし会は多くの参加があるが、小学校中学年以上の子どもたちの参加は少なかった。また、初めての試みである多言語おはなし会(中国語・韓国語)は多くの参加者があり地域の人が多様な文化に触れる機会を与えられた。今後は時間帯や曜日、PRの方法などの見直しが必要。 「子どもと本のつどい」については、「絵本が結ぶ家族の絆」渡辺順子さん、「10代と本×人をつなぐ」木村晋治さん、「ファンタジーの魅力語る」上橋菜穂子さんの3回実施となった。	市立図書館豊子ども文庫連絡会(豊子連)
133	伝承遊びの場づくり	地域の大人による、伝承遊びや昔話りの場を提供する。	新規				図書館で地域の子どもの文庫の世話人やおはなしグループのメンバーによるおはなし会を行い、子どもたちが昔話を聞く場となっている。今後はさらに伝承遊びや地域に伝わる昔話を子どもたちに伝える場をもつことが課題となる。	市立図書館

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
134	子ども対象の催し	折り紙や手作り工作をはじめとした地域子ども教室など、子ども向けに行っている行事を充実し、子どもと本をつなぐ機会とする。	継続		実施回数 参加人数	地域子ども教室2館 132回実施参加1,383人。子ども向け映画会4館15回実施参加572人。手づくり工作や人形劇などの子ども向け行事6館91回実施参加2,118人。	図書館で地域子ども教室が開催されることで、地域の子もたちが図書館に来館して本に親しむ機会となっている。	市立図書館
135	「おはなし指導者派遣事業」	豊中おはなしの会の協力を得て、日ごろ図書館を利用しにくい子どもたちに出前のおはなし会を行う。 [58、83、100にも掲載しています。]	継続		おはなし会の回数 参加人数	8ヶ所で10回開催、参加人数は1,022人	平成18年度は、私立幼稚園2ヶ所、小学校1ヶ所、中学校1ヶ所(2回開催)、養護学校2ヶ所(3回開催)、障害児通園施設2ヶ所でおはなし会を行った。図書館が派遣先とおはなしグループをコーディネートして事業を行っている。毎年度、図書館担当者と事業に関わったおはなしグループが集まって、次年度に向けた反省会を行っている。また、事業が終わった後も、図書館から団体貸出の案内をするなど、派遣先の子どもの読書環境を充実するために働きかけを行っている。	市立図書館 豊中おはなしの会
136	保育所(園)・幼稚園訪問	保育所(園)、幼稚園に出かけて、おはなし会や図書館の使い方の説明を行い、絵本やおはなしの楽しさを伝える。 [60にも掲載しています。]	継続		実施所(園)数	11箇所	近隣の図書館職員が訪問することで、子どもたちに図書館を身近に感じてもらう機会が1つになっている。また、保育所(園)幼稚園との情報交流の場もなっていて、地域の子どもの読書に関する情報を共有する機会となっている。	市立図書館 保育所(園) 幼稚園
137	「ようこそ図書館へ」	主に小学校3年生を対象として、小学校へ図書館見学を呼びかけて実施する。	継続		実施校数	39校	図書館見学の際に図書館の役割や本の探し方などについて説明するとともに、図書館の利用方法などを掲載した小冊子「われらはとしょかんたんけんたい」などを配布している。子どもたちが地域の図書館に見学に来て、より図書館を身近に感じてもらうことで、地域の子もたちの図書館への来館につながっている。	市立図書館 小学校
138	講座の開催	保護者や子どものまわりにいる大人に、子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を行う。	継続		回数 参加人数	子どもと本のつどい(3回)256人、私立幼稚園での絵本講座5回100人	子どもと本をつなぐ活動を様々な分野で実践されている講師による「子どもと本のつどい」(講師:渡辺順子さん、木村晋治さん、上橋菜穂子さん)や、私立幼稚園にて保護者向けに絵本講座「子育てに絵本の楽しさを」を5ヶ所で実施した。	市立図書館

子どもの本や読書に関する情報提供

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
139	ブックリスト	本の紹介リストを作成する。	継続				平成18年度に「赤ちゃん向け絵本の紹介冊子」を作成した。平成19年3月の「えほんはじめまして」から配布を始める。幼児向けやヤングアダルト向けなど、他の年齢向けのブックリストの作成は検討課題となっている。	市立図書館
140	ホームページの充実	図書館の子ども向けホームページをより使いやすいものにする。	新規				平成18年度は赤ちゃん向け絵本の紹介のページを新設するとともに、こども向けリンク集や子育て情報リンク集を載せた「こどものページ」をリニューアルした。	市立図書館
141	家庭への情報提供	図書館のホームページやケーブルテレビで本の紹介などを行う。 〔6、109にも掲載しています。〕	新規				平成18年6月、「豊中市採択の小学校国語の教科書に載っている本」をホームページで紹介した。平成19年3月、「赤ちゃん向け絵本の紹介冊子」を図書館ホームページに掲載した。ケーブルテレビでの本の紹介は平成18年度は未実施。	市立図書館
142	新1年生へのPR	「新1年生ピラ」を小学校を通じて新1年生に配布し、家庭に向けて図書館のPRを行う。 〔5にも掲載しています。〕	継続		配布枚数	3,756(H18年度の全小学校の1年生総数)	利用者カード申込書付きの図書館案内ピラを配布することで、PRとともに図書館の利用促進の機会となっている。要望のあった小学校へは直接児童にPRを行っている。今後は学校司書と連携しながら市立図書館利用につながるよう、継続した取り組みが必要となる。	市立図書館
143	情報検索のリーフレット	子どもを対象とした図書館の情報検索のリーフレットを作成する。	新規				平成18年度は学校での実施例など、資料・情報の収集を行った。平成20年度の実施に向けて検討中。	市立図書館
144	教職員向け利用案内	教職員向けの図書館利用案内を作成する。	新規				教職員が授業や研修に活用できる使いやすい利用案内の内容を検討中。	市立図書館 学校指導課 小中学校
145	中学・高校生へのPR	市内の中学校、高校に利用案内やポスターを配布する。	拡充		配布枚数	市内の全中学校と高校	中学校や高校へ図書館PRポスターの配布をした。直接、学校に持っていくことで、学校司書との情報交流の機会となった。これをきっかけとして、平成18年度に行なった服部図書館の紙芝居大会に、中学生・高校生がボランティアとして参加した。	市立図書館

読書環境の整備

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
146	市立図書館の資料の充実	図書館が子どもや子どもの本に関する情報を収集して資料を選書し、児童書の蔵書をさらに充実したものとす。	継続		児童書の受け入れ冊数	15,868冊	子どもや子どもの本に関する雑誌の目次や新刊紹介のページをコピーし、全ての図書館こども室担当者に回覧すること等により子どもの本の情報を共有している。また、利用者からのリクエスト等、必要に応じて資料を収集している。	市立図書館
147	はじめてであう絵本のコーナー	子どもがはじめて出会う絵本を集めたコーナーを設置する。	継続		コーナー設置数	すべての図書館(9館)	すべての図書館に子どもがはじめて出会う絵本を集めたコーナーを設置している。コーナーには絵本のほかに地域の情報や子育て情報を提供している。	市立図書館
148	子育て支援	子どもの本とともに子育てに関する資料や情報を提供し、図書館が子育て支援の場のひとつとなるよう環境整備を行う。	拡充				赤ちゃんと保護者を対象にした行事やはじめて出会う絵本のコーナーに、チラシや子育てに関する資料を展示している。また、こども室に子育てに関する資料のコーナーを設けている図書館もある。	市立図書館
149	ティーン向けの資料の充実	ティーン向けの本のコーナーを設置する。	継続				ティーン向けの本を集めて、ヤングアダルトコーナーを設置している図書館は8館ある。児童書・成人書の2カ所にコーナーを設置したり、どちらか一方に1カ所、あるいはその境にコーナーを設けるなど、各図書館の状況に合わせて設置している。書評の掲示や本の表紙を見せて、利用者が手に取りやすい工夫をしている。今後は近隣の高校や中学校と連携しながら10代の求める資料・情報等を提供していく必要がある。	市立図書館
150	資料の充実	図書館が通園施設や養護学校の教職員とともに、施設で活用される資料の情報交換を行い、障害のある子どもにとって有効な資料を研究し、選書の際の参考にす。 〔113にも掲載しています。〕	新規		施設数	2箇所	施設や学校で活用される資料の情報交換を教職員と行い、施設ごとの資料に関するニーズを捉えている。そして、移動図書館車の巡回時に積み込む資料に反映して、施設や学校の読書環境の整備につとめている。課題としては施設の職員や保護者が入れ替わる場合があり、継続的に図書館からの情報提供や利用方法の説明を実施する必要がある。	市立図書館通園施設養護学校
151	外国語資料の充実	関係団体と連携・協力し、外国人市民の意見やニーズを把握しながら、外国語資料を購入や寄贈本を受け入れることによって蔵書を充実する。また岡町図書館の「世界のこどもの本の部屋」をより利用しやすいものにする。 〔111にも掲載しています。〕	拡充		購入冊数 所蔵冊数	児童書95冊・ 児童書7,247冊	図書館においては外国語の絵本(95冊)を購入した。現在、市立図書館では外国語児童書7,247冊を所蔵している。また各図書館においては外国語資料のコーナーに岡町図書館の「世界の子どもの本の部屋」の案内をおく等、PRに努めた。今後は関係団体と連携し、外国人市民の意見やニーズを把握し、より多くの言語の資料を受入れ、市立図書館の外国語資料の充実をすすめていくことが課題となる。	市立図書館
152	外国語資料の検索システムの整備	英語以外の外国語資料について、蔵書検索ができるように研究を行う。 〔114にも掲載しています。〕	新規				英語以外の外国語で検索することは、図書館システムとしてまだ課題があるが、簡易な目録を作成しホームページに掲載することなどを検討中。平成18年度、中国語・韓国語以外のアジアの諸言語については簡易な目録を岡町図書館で作成した。	市立図書館

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
153	動く図書館の巡回	動く図書館が通園施設や養護学校、保育所を巡回して、子どもや教職員が直接選んだ資料を貸出しする。	継続		動く図書館で巡回している施設数 貸出冊数	保育所6ヶ所、養護学校2校、通園施設2ヶ所、16,679冊	約4週間に1回、各施設を巡回して貸出を実施している。移動図書館車に資料をのせて各施設に乗り入れることで、図書館から離れているなど様々な理由で来館が困難な子どもたちが、たくさんの資料の中から自分のお気に入りの本を選び、本に親しむ機会となっている。現在巡回を行っている施設に加えて、子どもたちが図書館に来館することが難しい施設への巡回を検討している。	市立図書館
154	団体貸出	子ども文庫、保育所(園)や幼稚園、人権まちづくりセンターなどへ団体貸出を行う。〔15、45、67、112をご参照ください。〕	継続		団体貸出冊数	子ども文庫4,796冊、保育所25,180冊、幼稚園1,422冊、人権まちづくりセンター1,669冊	毎年、年度当初に団体登録の更新を行っている。図書館からの団体貸出に関する情報提供や「おはなし指導者派遣事業」、出前講座「子育てに絵本の楽しさを」などの取り組みをきっかけとして、新たに団体貸出の利用が始まる団体もある。各団体からの行事や季節に関するリクエストに応じて、資料を選書している。また、資料の配本サービスを行っている。今後は団体貸出の制度について各施設への継続したPRが必要となる。	市立図書館
155	留守家庭児童会への貸出しと配本	留守家庭児童会へ絵本や紙芝居などを選書し、定期的に貸出・配本する。平成18年3月現在32ヶ所で実施。〔45をご参照ください。〕	継続		留守家庭児童会数 貸出冊数	32校、11,028冊	およそ4か月に1度、本を入れ替えるために配本をしている。団体登録の更新時や配本時に留守家庭児童会の指導員から希望を聞き、配本する資料の選書に反映している。	市立図書館 子育て支援課
156	学校図書館との連携・支援	市立図書館職員と学校司書が日常的に子どもや子どもの本に関する情報を共有する。その中で学校図書館への団体貸出や調べもの、リクエストなどの支援を充実する。また市立図書館の行事においても両者が連携し、内容の充実を図る。	継続				学校図書館と市立図書館間の資料運搬システムが、春休み等で休止している期間でも、平成18年度から試行として、インターネットからのリクエストができるようになった。また、学校からの調べ学習に対応するため、岡町図書館外サービス室にテーマ別のコーナーを設けている。さらに市立図書館で行う「子どもと本のつどい」などのポスター掲示を通して、PRに連携・協力している。	市立図書館 学校指導課 小・中学校

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
157	学校・市立図書館連絡会	学校・市立図書館間で資料活用状況等に関する交流(情報交換や研修)の場を設ける。 [90にも掲載しています。]	継続		会合回数	8回 (8館×1回)	図書館から学校指導課を通じて担当する地域の小学校・中学校に呼びかけ、学校図書館司書や司書教諭と会合を持った。図書館の資料を活用した授業の様子や学校図書館の取り組みなど、学校における子どもの読書に関する情報交換とともに、市立図書館における地域の子どもの読書に関する情報交換を行った。	学校指導課 市立図書館 小・中学校
158	小児科などの医院との連携	地域の小児科などの医院と、子どもと子どもの読書に関する情報交流を行う。 [2をご参照ください。]	新規				絵本を紹介するリストを市内の小児科などに配布できるか検討している。	市立図書館

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
159	おはなしボランティア活動への支援	地域や図書館、学校で活動するボランティアに対して図書資料や場所、活動に必要な情報を提供し、講座の開催など学習の機会を保障する。 [16にも掲載しています。]	拡充		貸出冊数 ボランティア支援講座の回数 参加人数	おはなしボランティアグループへの貸出9,352冊、ボランティア講座受講者への貸出658冊、ボランティア講座11回268人、フォローアップ研修講座2回89人。	平成17年度に続き、ボランティア支援のための講座「子どもと本をつなぐボランティア講座」「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」を実施した。ボランティアへの資料面での支援として、活動に関する資料を探しやすいように、服部図書館では子どもの本を楽しむガイドブックのコーナーを設置している。今後の課題としては講座開催など、継続した情報提供を行うと共に、ボランティアの交流の場をつくり、地域でのネットワーク作りをすすめる取り組みが必要となる。	市立図書館
160	紙芝居ボランティア「紙芝居すきやねん」	市立図書館や地域の公共施設が地域のおはなしボランティアと連携し、小学生・中学生・高校生のおはなしボランティア活動を支援し、活動の場を提供する。 [17、72、91をご参照ください。]	拡充		実施回数	14回	中学生・高校生ボランティアによる幼児向け紙芝居会を毎月1回実施している。また、担当地域の学校司書に相談して参加者募集をしたり、地域子ども教室で「読み聞かせ体験」を実施した図書館もある。担当地域の学校司書と相談して参加者募集をしているが希望者が少なくなっているため、今後、紙芝居ボランティアを広くPRして募集することが課題となっている。	市立図書館 おはなしボランティア ポケット関係施設

子どもに関わる大人への啓発と研修

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
161	パネル展	子ども読書に関わる市民・関係団体の活動を紹介するパネル展を行う。	新規		実施回数 参加団体数	1回 (子ども本のまつり)	「子ども本のまつり」では、豊中子ども文庫連絡会を紹介するパネルを展示している。今後は「子どもと本をつなぐ地域交流会」の際に、地域で子ども読書に関わる市民・関係団体の活動を紹介するパネルを展示して、広く市民に知っていただく機会とすることを検討している。	市立図書館
162	教職員への取り組み	夏休みを利用して、教職員向けに図書館見学会や図書館・図書館資料の効果的な活用を提案する。 [94をご参照ください。]	新規				調べ学習での、より効果的な市立図書館活用法など、平成20年度の実施にむけて企画内容を検討している。	市立図書館 学校指導課 小中学校
163	情報交流と研修	図書館や関係機関等で行う講座や研修の情報を共有し、学習の機会を広げる。 [76、123をご参照ください。]	拡充		研修回数 参加人数	1回36人	ヤングアダルトサービスについての研修を「子ども本のつどい」にあわせて実施した。学校司書にも参加を呼びかけ研修の機会とした。	市立図書館 関係施設
164	図書館職員研修	図書館の児童サービスに関する研修を充実する。 [54をご参照ください。]	拡充		研修回数	ボランティア講座11回・フォローアップ研修講座2回・子ども本のつどい13回実施。	講座や行事の際には、図書館職員が研修も兼ねて参加している。平成18年度は子ども本のつどい「すべての子どもに言葉の喜びを」「10代と本×人をつなぐ」を研修として実施したほか、小学校の教職員への読み聞かせ講座を1回実施した。また大阪子ども文庫連絡会主催の児童文化講座への参加も研修の場となっている。今後は図書館職員が児童サービスに必要な知識を得られるよう、計画的な研修の実施が課題となる。	市立図書館